

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	学校企画課長 高橋 泰幸	電話番号	0852-22-5408
----------	--------------	------	--------------

事務事業の名称	高等学校修学奨励費（定時制・通信制）		
目的	(1) 対象	県立高等学校定時制課程及び通信制課程に在籍する勤労青少年	
	(2) 意図	経済的負担を軽減させ、修学の促進を図る	
事業概要	有職生徒の経済的負担を軽減させるため、1月当たり14,000円の修学資金を貸与、また、教科書及び学習書を無償で給与		

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名 適格者に対する貸与、給与率	目標値		100.0	100.0	100.0	100.0	%
		取組目標値						
	式・定義 貸与者/貸与申請した適格者	実績値	100.0					
		達成率	-	-	-	-	-	%
2	指標名	目標値						
		取組目標値						
	式・定義	実績値						
		達成率	-	-	-	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b) (千円)	3,210	4,940
うち一般財源(千円)	3,210	4,940

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	①順調に進んでおり課題がないため検討していない。
---------------------	--------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

修学奨励資金については、平成27年度においては申請を行った4名の者に貸与した。なお、平成26年度においては申請を行った2名の者に貸与している。また、教科書・学習書の給与については、平成27年度においては希望する約250名の者に約2,800冊給与した。なお、平成26年度においては希望する約280名の者に約3,000冊給与している。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

有職生徒の経済的負担を軽減することにより、青少年の修学の促進に成果を上げている。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」
特になし

②困っている状況が発生している「原因」
特になし

③原因を解消するための「課題」
特になし

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

修学奨励資金については、各校で生徒によく制度周知し、適格者に対し確実に貸与を行っており、これを継続する。また、教科書・学習書については、希望する者に対し給与を行っており、これを継続する。

・課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

・上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）